

日本歯科技工学会雑誌 投稿規程
(2023 年掲載論文より適用)

投稿資格

本誌への投稿は編集委員会が認めた場合を除き、本学会会員に限る。

原稿の種類

1. 原稿の種類および記述形式は以下の基準とする。

1) 総説：編集委員会より依頼する。歯科技工における特定の題材について既存の報告等をもとに解説したもの。

2) 原著：研究の新規性、独自性が高く、客観的な結論が得られ、歯科技工の発展に寄与する論文。

3) 臨床技工（技工術式）：臨床技工から導かれた独自性の高い研究や臨床で定説となっている技工術式の修正等についての提言したもの。

4) 教育：教育に関して新しい試み。教授方法などを紹介するもので、著者の提案する改良、改善によって、教育の有効性がより向上することが記述されているもの。

5) 調査研究：歯科技工に必要な情報について調査結果などを整理した内容で、独自性が強いもの。

6) その他：上記区分に属さないものは、論文内容によって編集委員会が区分して掲載する。

2. 論文の内容は、本会の目的に沿った研究成果、および歯科技工技術に関するもので、他の刊行物に未発表のものに限る。

原稿の採否

原稿の採否は査読を経て編集委員長が決定する。

発行予定日

1号 1月25日

2号 7月25日

掲載料

論文の掲載料は刷り上がり5ページまで無料（学会負担）とする。ただし、超過ページ分（1ページにつき8,000円）とカラー写真、図のトレースは著者負担とする。

別刷

別刷希望の場合は、表紙5,500円＋白黒一部120円、表紙5,500円＋カラー一部230円を

著者負担とする。

校 正

著者校正は1回とする。著者校正の際、印刷上の誤り以外の字句の訂正、挿入、削除などは認めない。

原稿の様式

1. 原稿は A4 判用紙に 25 字×23 行（＝雑誌 1/4 頁分）で印字し、原稿下中央に通しページを記入する。
2. 原稿の第 1 ページに次の事項を記載し、表紙とする。
 - a. 原稿の種類
 - b. 表題名（和文）
 - c. 著者名
 - d. 表題名（英文）
 - e. 著者名（ローマ字）
（例）ISHIKAWA Takuya
 - f. 著者の所属および連絡先（所属機関が異なる場合は右肩に 1）、2）を付け、所属を明確に区分する）
3. 抄 録
 - a. 400 字以内とする。原著論文の抄録には以下 4 個の小見出しを付与して構造化抄録とする。小見出しは文字数には含まれない。目的、方法、結果、結論
 - b. キーワードは、5 語以内とする。
4. 本 文
 - a. 原稿の構成は、緒言、材料と方法、結果、考察、結論、文献とする。
 - b. 文章は新かなづかいとし、漢字は学術用語以外は常用漢字を用いる。
 - c. 原稿の区分けは、次のような順にする。
1....., a....., a)
 - d. 外来語はカタカナで書くこと。
 - e. 単位記号は国際単位系（SI）とし、数字はアラビア数字を用いる。
 - f. 製品名は、原則として「一般名（製品名、会社名、国外製品は国名）」のように記載する。
 - g. 本文中の文献引用は、著者名や引用文のあとの右肩に文献番号と片括弧をつける。
（例）佐野¹⁾ は～と（佐野ら¹⁾ は～と）
～の成績が報告¹⁻¹⁰⁾ されている。
～とされている^{1,3)} が

- h. 図や表を本文原稿に貼りつけたり，掲載箇所を示すための空白を作らないこと。
5. 図，表
- a. 図（写真）と表に分類して番号を付け，図と表それぞれで1ファイルとする。
 - b. 説明は和文とし，必ず別の用紙（A4判）に番号順に記入し，図および表に添付する。
 - c. 図は白地に黒で鮮明に書くこと．原図の大きさは刷り上がり寸法のおよそ2倍とし，縮尺を考慮して線の太さ，記号や文字の大きさを決めること．なお，縮尺の指定のないものは編集委員会一任と考えて処理する。
6. 文 献
- a. 末尾文献について
 - a) 末尾文献は本文に引用されたものだけをあげ，本文中に出てきた順序に番号をつけること。
 - b) 文献の記載には，次の形式を厳守し，ピリオド，コロン，カンマの使いわけに注意すること。
 - b. 雑誌の場合
 - 著者：表題，雑誌名 巻（号）：頁-頁，発行年．共著の場合は筆頭者を含め3名までとし4人目以下の共著者は『他』または『et al.』と略す。
 - （例）藤田 暁，中塚美智子，首藤崇裕他：学生の理解力に関する自己評価と成績の関連，日歯技工誌 43(1): 1-7, 2022.
 - （例）峯 裕一，田地 豪，岩畔将吾他：Photogrammetry による顎顔面デジタル印象と3Dプリントモデルの再現性評価，日歯技工誌 42(特): 19, 2022.
 - （例）Waki T, Sawada T, Ishigami H, et al.: Recycling of used alginate impression materials into final polishing powder for methacrylate denture base resins, Asian Pac J Dent 21(1): 1-6, 2021.
 - c. 単行本の場合
 - 著者：書名，頁-頁，発行所，発行地，発行年。
 - （例）藤田恒太郎：歯の組織学，122-130，医歯薬出版，東京，1958.
 - （例）Tylman SD : Theory and practice of crown and fixed partial Prosthodontics, 6th ed., 495-529, The C. V. Mosby Co., Saint Louis, 1970.
- （注）雑誌の略名は当該誌が指定する略称とする．それ以外は日本自然科学雑誌総覧，または，日本医学雑誌略名表ならびに Index Medicus などによるものとする．原著論文における引用文献として，書籍，URL の引用は可及的に避け，当該事項を記載した論文を渉猟して引用する．

ヒトを対象とする研究はヘルシンキ宣言を遵守し、所属機関において研究倫理審査を受け、研究対象者および患者から参加についての同意を得る。所属機関に倫理審査委員会がない場合は本学会倫理審査委員会の承認を得る。論文中には承認を得ている旨ならびに承認(許可)番号を明記する。なお、1症例報告の投稿においては、研究倫理審査の申請は不要とする。

著作権

当該著作物の著作権は日本歯科技工学会に帰属する。

臨床技工（技工術式）論文執筆要領

1. 原稿の構成

基本的な項目および文献を含むよう心掛ける。

緒言、技工術式（症例の概要）、結果、考察、結論、文献

2. 項目の内容

緒言

執筆にあたっての目的を述べる。

技工術式（症例の概要）

対象症例の年齢、性別、その他特記事項（製作時期など）を述べる。

製作方法、使用材料、製作期間などについて述べる。必要に応じて写真、図等を使用する。

結果

技工術式の結果をまとめ、必要に応じて写真、図等を示し、経過等について述べる。

考察

過去に報告された論文等を参考に、著者の考えを述べる。

結論

知見をまとめるとともに、さらに今後の展開等を述べる。

文献

執筆にあたって引用した文献をあげる。

なお、症例写真を用いる場合は、患者の同意を得るとともに歯科医師との共著とする。

1症例報告における歯科医師の共著者数は1名に限るが、報告の内容によっては本学会非会員の歯科医師も著者として認める場合がある。

投稿要領

1. 原稿は電子メールで送付する。

2. 原稿（表紙、抄録、本文で1ファイルにする）はMicrosoft Office Word（以下、Word）形式とする。

図は jpg または pdf, 表は Microsoft Office Excel または Word 形式とする.

3. ファイル名は和文で「著者名」__「所属名 (大学は学部以下不要)」__「原稿, 図, 表, 投稿票」__およびファイルを表す「. 拡張子」とする.
(例) 石川拓哉__市ヶ谷歯科大学__原稿. docx ; 石川拓哉__市ヶ谷歯科大学__図. jpg ; 石川拓哉__市ヶ谷歯科大学__投稿票. docx
4. カラー印刷希望の図はカラーデータ, モノクロ印刷希望の図はモノクロデータとする.
5. 電子メールの件名 (Subject) は「技工学会投稿論文」とする.
6. 投稿原稿は, 日本歯科技工学会事務局: hensyu6@kokuhoken.or.jp に送付する. CC (Carbon Copy) に, hensyu5@kokuhoken.or.jp を加えること.
7. ファイルサイズが大きすぎる等の問題のため電子メール投稿が困難な場合は, FTP サーバ等を用いた投稿も可能とする. この際であっても, まずは 6. のアドレスに連絡し, その際にファイルをダウンロードするサイトを指示すること.
8. 投稿原稿には『投稿票・チェック票』と『承諾書』を添付する. 『承諾書』は著者全員が署名, 捺印したものを PDF ファイル化して投稿原稿とともに送信し, 著者校正返送時にはその原紙を同封する.

その他

1. 原稿は特別の場合を除き返却しない.
2. チェック票の指示に従い, 投稿原稿を確認する.
3. この規程にない事項は編集委員会で協議して決定する.

原稿送付先および問合せ先

hensyu6@kokuhoken.or.jp

〒170-0003 東京都豊島区駒込 1-43-9

(一財) 口腔保健協会内 (一社) 日本歯科技工学会雑誌編集係